

北朝鮮の核実験実施発表について（声明）

平成18年10月10日
原子力委員会

1. 我が国を始め各国があらかじめ最大限の自制を要請したにもかかわらず、昨日、北朝鮮が核実験を実施した旨の発表を行ったことは、このような国際社会の真剣な働きかけや核兵器の究極的廃絶を希求する我が国国民の願いを無視するものであり、極めて遺憾である。
2. 原子力委員会は、インド及びパキスタンの核実験（平成10年5月）に対して遺憾の意を表明した際などを含め、一貫して、人類社会の福祉の向上と各国の国民生活の水準向上を目指す原子力の研究、開発及び利用を推進するためには、国際的な核不拡散体制が必要不可欠であると認識し、主張してきた。当委員会は、このため、国際連合、国際原子力機関等における国際的な核不拡散体制の維持・強化のための取組を支持し、その推進の一翼を担ってきている。
3. 北朝鮮による核実験は、我が国のみならず、東アジア及び国際社会の平和と安全に対する重大な脅威であり、今回の北朝鮮の発表は、このような国際社会の核不拡散に関する取組に打撃を与えるものであり、断じて許されない。当委員会としては、北朝鮮に対して、核実験及び核兵器開発計画を即時に放棄し、国際的な核不拡散体制に速やかに復帰することを強く求める。